

みしま



2011

5

広報みしま No. 218

立ち上がろう。明日はまた来る

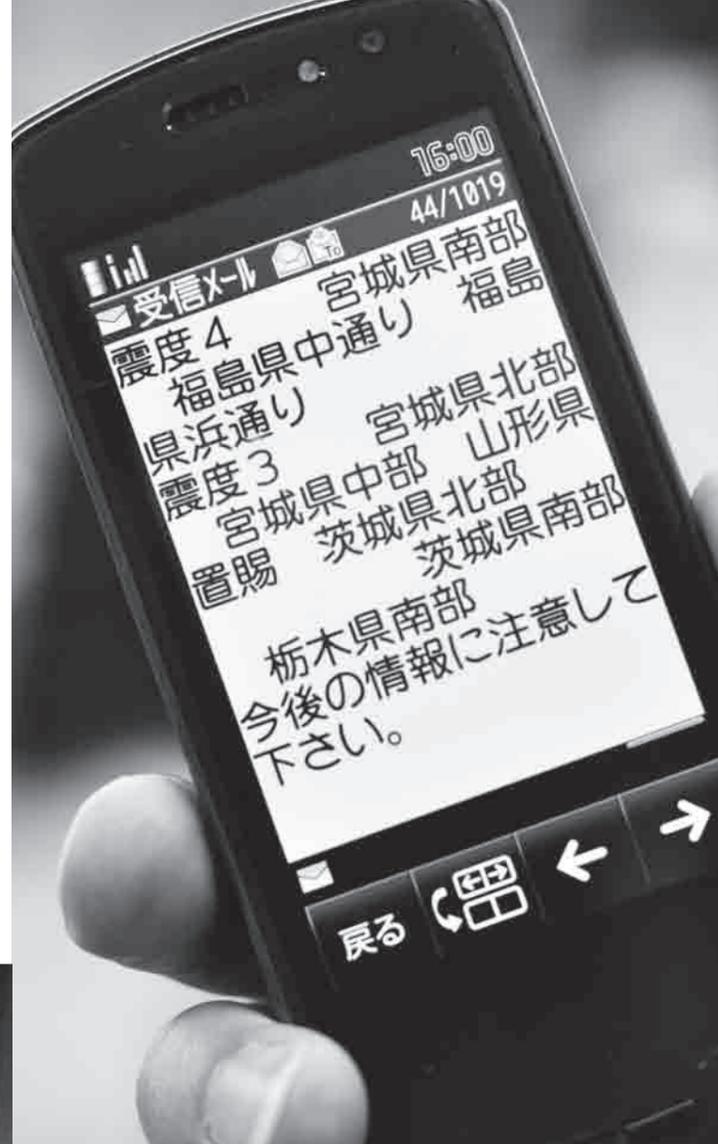
特集 東日本大震災

写真／大津波によって破壊された「道の駅よつくら港」（いわき市四倉、4月2日撮影）

余震、放射線、風評 負けない。がんばろう福島

信じられないような地震と津波、そして福島第一原発事故による放射線の被害が、毎日のように報道されています。三島町では、幸いこれまで大きな揺れはありません。しかし、誰も想像しなかった地震、想定しなかった津波が、本当に発生し、多くの犠牲が出てしまったという事実を目の前に、わたしたちは今こそ助け合わなければなりません。

東日本大震災で亡くなられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。



防災メールの受信が設定されている役場職員の携帯電話には、強い余震を知らせるメールが毎日のように届いた。

2011年3月11日

わたしたちは、この日を一生忘れることができないでしょう。

「災害は起きる」ということを、思い知らされました。

地震の規模は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0、最大震度7、福島県内でも広い範囲で震度6強の非常に強い揺れを観測しました。さらに東北・関東地方の太平洋沿岸に大津波が押し寄せ、多くの命が奪われました。

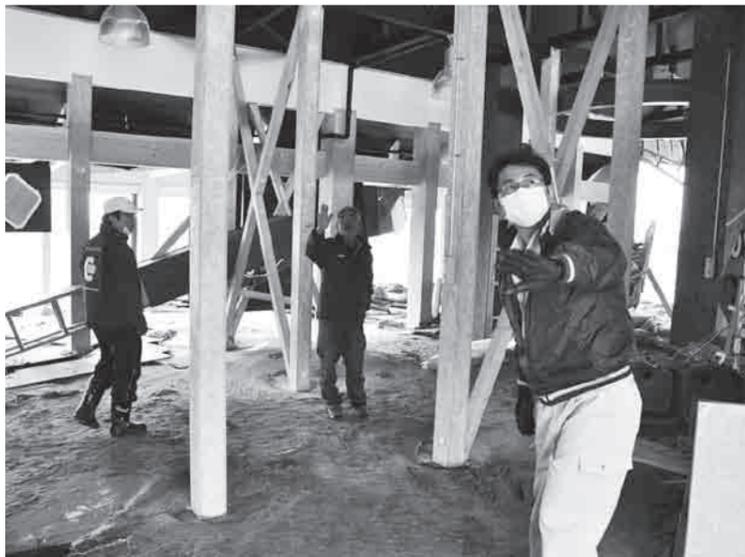
そして、追い打ちをかけるように起きた福島第一原発の事故。骨組みだけとなった原子炉建屋の映像に、誰もが目を疑いました。信じられないような被害報道が毎日続き、家も仕事もなくした多くの人々が、今も避難生活を強いられています。

三島町では震度3を観測。幸い大きな被害はありませんでしたが、すぐに支援側の立ち場で大震災と向き合いました。町では災害支援対策本部を設置。翌12日には、猪苗代

町の断水となった地区に給水車を出しました。また、会津地方振興局からの要請を受け、18日から23日にかけて、合計で約6900個のおにぎりが町内で作られ、県内の避難所に送り届けられました。

浜通り・中通りでは、放射線漏れが起きた原発からできるだけ離れようと、多くの人が避難しました。町内の旅館、民宿は避難者を安価で受け入れ、飲食店も安価での食事提供に協力しました。三島町への避難者は、一般世帯の受け入れも含めて285人に上りました。

福島第一原発から20km圏内の南相馬市小高区から避難してきた女性は「家の中はめちゃくちゃ。早く逃げると言われ、何も持たずに逃げるしかなかった。避難所を転々とし、知人の案内で三島に辿り着いた。温かく受け入れてくれて本当にうれしかった」と涙ぐみました。そして「普通の生活を返してほしい。先の見通しがないので明るい気持ちになれない。国と東電は早く指針を示してほしい」と訴えました。



大津波に襲われ、屋根と柱だけが残った「道の駅よつくら港」の施設(いわき市四倉)

余震の累積回数

3月20日～4月25日の全国累計
気象庁発表

震度	回数
6強	1
6弱	2
5強	3
5弱	11
4	51
3	213
2	597
1	1,158
合計	2,036

※3月19日以前は未処理のため不明

三島町の放射線量は 安全な範囲内です

放射線測定値

三島町の放射線量の測定結果は、福島第一原発事故の影響により、通常より少し高い量となっておりますが、健康に影響が出るような数値ではありません。また、水道水や農作物からは検出されておられません。

空気中の放射線量

測定場所：三島町役場 単位：マイクロシーベルト/1時間

3月20日	3月27日	4月3日	4月10日	4月15日	4月19日
0.38	0.20	0.14	0.16	0.16	0.12
4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日
0.13	0.12	0.14	0.10	0.13	0.12

※通常の放射線量は0.04～0.05です。

1年間に換算した空気中の積算放射線量

単位：マイクロシーベルト

原発事故後の三島町の推測値	通常時の日本平均	通常時の世界平均
約 1,200	約 1,000	約 2,400

水道水、農産物の検査結果

	放射性ヨウ素	放射性セシウム
水道水 (4月24日検査)	検出されていません	
牛乳 (3月29日検査)		
会津地鶏 (3月29日検査)		

町商工会と以前から交流のあった、いわき市四倉地区の「道の駅よつくら港」には大津波が押し寄せました。道の駅の施設は破壊され、屋根と柱だけが残り、四倉の街にも浸水して大きな爪痕を残しました。被害の連絡を受け、町、町商工会、町社会福祉協議会などが協力し、町民のボランティアを募って支援隊を結成。避難所での炊き出しや土砂撤去など、支援活動が行われました。

福島第一原発事故による放射能汚染の影響が、風評被害も重なって広がっています。会津地方では高い放射線量は測定されていませんが、観光客は激減しています。町内の旅館でも、宿泊予約が少ない状態です。6月には町最大のイベント「ふるさと会津工人まつり」が開催されます。いつもなら、近隣町村も含めて旅館はどこも満室に近い状況となりますが、今年ほどの程度の来場があるか心配されます。町では「がんばろう福島・三島」を合言葉に、地域の経済活動が上向きよう努めています。



美しい四倉海岸
砂浜で、たこあげ大会
今年もやろうと話していた
「四倉には、津波は来ない」と
祖父は言っていたが…

若松 光さん
いわき市 四倉在住

地震が発生したとき、わたしは自宅の仕事場にいました。揺れ始めは、たいしたことはないだろうと思いましたが、しかし、急激に揺れが激しくなり、「これは尋常じゃない」と感じて外に出た途端、隣の家の屋根瓦が落ちてきました。強い揺れは非常に長く続きました。家はぐにやぐにやと揺れました。立っていることができず、その場に尻もちをつきました。強い余震が続く中、消防車がサイレンを鳴らしながら、「大津波警報が出ています。すぐに高台に避難してください」と呼びかけて回っていました。近所の年配の方々、逃げなかつた人もいたようです。今までの経験から、それほど大きな津波が来るとは思わなかつたでしょうから。わたしは近くにいた人と一緒に、近くの高台に避難しました。でも、本当に大津波が来るとは、わたしも思っていないのでした。経験したことのない強い揺れと、10分という今までにない高さの津波警報

異常事態を知らせるサイレンが気になり、念のため避難したのです。逃げずに亡くなってしまう方もいたと思います。素直に逃げた人は、助かったのです。四倉には、津波は来ないといわれていました。私の祖父も、そう話していたのを覚えています。四倉海岸は、大きな津波が起こらない地形だと。過去の古い記録にもない。「大丈夫だろう」という推測が、多くの命を奪ったのです。

わたしたちは普段、海岸沿いにある「道の駅よつくら港」で魚の販売をしています。あの日はたまたま自宅にいました。道の駅は津波によって大きく破壊され、柱と屋根だけが残り残りました。三島に何度も通った移動販売車も流されてしまいました。従業員の間も、全員避難して無事だったことを、次の日の朝になって知りました。地震から津波の到達まで約20分。もし逃げなかつたら、仲間の命はありませんでした。マスクをした人たちが、

海底の岩肌が見えるほど
水が引いた
そして、海そのものが
泥水の壁になって
押し寄せてきた

草野 亘さん
いわき市 四倉支所長



わたしは、津波とはもつとザブーンと白波を立てて来るものだと思っていました。実際は違いました。目撃した人の話では「海底が見えるほど水が引き、その後、海そのものが高くなり、泥水となって迫ってきた」といいます。地震から20分ほどで津波が到達したようですが、わたしはもっと早くかつたように感じました。避難所となつた四倉高校には、千人もの住民が避難してきました。雪が降るような寒い日でした。災害に備えていた毛布が足りず、周辺地域からも集めました。それでも足りず取り合いいなくなるほどでした。全職員が支所に泊まり込み、対応に当たりましたが、状況把握は極めて困難でした。そこに追い打ちをかけたのが、原発事故です。四倉地区は福島第一原発から35kmほどで、避難指示、屋内退避の区域からは外れています。しかし、支所には電話が殺到し、まるで避難指示が出ているかのようなパニックでした。

「情報が来ない。どこに聞けばいいのかわからない」などの住民の声に、支所でもどうしていいかわからず、国の関係者などに訴えました。まもなくテレビに電話相談のテロップが流れるようになりました。市では、被爆を予防するヨウ素剤を配布しましたが、「これは大丈夫だと言っているのに、なぜ配るんだ」という声も出て、かえって不安をあおることになってしまいました。避難区域ではないのに、いわき市には物資が入ってこなくなり、食べ物もガソリンも不足しました。自主避難する人も増え、街は一時ゴーストタウンと化しました。人は徐々に戻ってきましたが、地区内では商店が開いていない状態がしばらく続き、満足な買い物もできない状況でした。避難所に供給される食料は、おにぎりとパンが中心で、野菜はほとんど口にできていませんでした。そんなとき、三島から送られてきた漬物は、本当にありがたかつたです。徐々に物資

が入ってくるようになりましたが、今度はそれを公平に届けることが難しいのです。支所まで来ることができない人や、買い物に行けない人、出歩くことが困難な高齢者などもあります。一軒一軒回ることもできず、すべてに対応することが難しい状況です。

断水は3週間以上続きました。まだ復旧していない場所もあります。こんなに長い断水は、今まで経験したことがありません。

久之浜地区（四倉地区の北側）では、津波で約500棟が全半壊し、火災も発生して海岸沿いでは壊滅状態。現在も行方不明者の捜索が続いています。さらに壊れた家に空き巣に入るといふ許せない犯罪も起きています。四倉地区では20人が亡くなったことが分かっていますが、把握できていない行方不明者がまだいることも考えられます。四倉高校では地震から20日たった現在も、約200人が避難生活を送っています。（4月2日取材）

「被災者を助けたい」
町民の皆さんの気持ちは、たくさん届きました。災害支援ボランティアには98人が登録。支援物資は毛布や衣類、日用品など69種類、3610点が寄せられ、ボランティアの手で仕分けされて被災地に届けられました。また、避難してきた子どもたちに、少しでも楽しい時間を過ごしてもらいたいと、「遊びの広場」を町民センターに設け、昼食も提供しました。町と町社会福祉協議会の窓口で寄せられた義援金は、合計471万5509円（4月20日現在）。日本赤十字社を通じて被災地に送られるほか、町の支援活動に使われます。

町商工会ではまず、「野菜がない」という四倉からの声を受け、漬物や果物などを届けてきました。4月2日には、現地の避難所で炊き出しを実施。町商工会、日本赤十字奉仕団、社会福祉法人みしま、(有)会津地鶏みしまや、一般ボランティア、役員職員など約20人が参加しました。地震と津波により被災した住民約200人が避難している四倉高校の体育館で、けんちんうどん、大根煮、会津地鶏から揚げ、温かい牛乳などを提供しました。

避難所では、野菜や肉類の供給がほとんどなく、避難者の健康状態が心配されています。三島町から提供されたけんちんうどんや大根煮を食べた男性は、疲れた表情を見せながら「久しぶりに野菜を口にしました。おいしいです」と話していました。

四倉での支援活動は4月9日・10日にも実施され、壊れた家屋からの家財搬出や、津波によって道路に打ち上げられた土砂の撤去などが行われました。2日間の作業に延べ80人のボランティアが参加。町や町商工会では、今後も必要に応じて被災地の支援を継続していく予定です。

1_各地区、飲食店、赤十字奉仕団などの協力により、約6,900個のおにぎりが作られた。おにぎりは会津地方振興局を通じて、県内各地の避難所に届けられた。
2_三島町に避難してきた子どもたちのために、「遊びの広場」が町民センターに設けられた。町内の中学生や高校生、赤十字奉仕団の皆さんがボランティアで協力し、子どもたちは楽しいひと時を過ごした。

「四倉を助けよう」 支援ボランティア延べ100人



4



3



2



1

広がった支援の輪 285人の避難者を受け入れ

3_いわき市四倉で4月9日・10日、土砂撤去や壊れた家屋からの家財運搬などが行われた。2日間で町内から延べ約80人のボランティアが参加した。

4_いわき市四倉の避難所となった四倉高校で4月2日、けんちんうどんなどの炊き出しが行われた。町内から約20人のボランティアが参加した。

三島町の災害時用備蓄品

備蓄品	数量
非常食	1,950食
毛布	160枚
ラジオ付電灯	140個
使い捨てカイロ	720個

町では災害に備え、物資の備蓄を行っています。2年に一度、防災訓練を行って備蓄している非常食を使用し、再度新たに備蓄するサイクルとなっています。

◎編集を終えて

毎日お風呂に入り、温かいご飯を食べ、布団で寝ることができると当たり前暮らし。それがどんなに恵まれていて、幸せなことか、今回の大震災で思い知らされました。そして、「想定しなかった」という言葉では何も解決しないこと、あり得ないことも想定しなければならぬことを学びました。

三島町では、幸運にも大きな被害はありませんでした。これまでも、三島町の揺れは比較的小さい傾向があります。しかし、今後も大きな地震が起きないとは言えません。震度6強規模の大地震を「想定」しなければなりません。町では物資の備蓄や防災訓練に加え、今後さらなる備えを検討していきます。

今回の災害は、まだ終わっていません。放射線の問題と何年も向き合うことになるかもしれません。正しい情報を見極め、冷静に、そして強い気持ちで前に進みましょう。それが、被災地を励ますことにもなると信じて。

特集 東日本大震災 終わり

被災地支援状況

月日	支援内容
3月13日	義援金募金箱設置
3月15日	個人義援金受付
3月16日	救援物資の提供募集・受け入れ
3月18日～23日	救援おにぎり作り
3月24日	支援物資の仕分け作業
3月26日	町内避難者向け炊き出し
3月28日	町内避難児童遊びの広場
3月28日	救援食糧品の募集・受付
3月30日	町内避難児童遊びの広場・昼食提供
4月1日	救援食糧品の仕分けと搬送
4月2日	いわき市四倉高校避難所炊き出し
4月5日	町内避難児童遊びの広場
4月5日	支援物資の仕分け作業
4月9日、10日	いわき市四倉復興支援援助

三島町への避難者（最大数）

避難元市町村	人数	避難元市町村	人数
いわき市	119人	本宮町	15人
広野町	5人	矢吹町	3人
大熊町	18人	浪江町	3人
楢葉町	5人	仙台市	1人
田村市	4人	白河市	2人
福島市	24人	双葉町	2人
郡山市	27人	富岡町	1人
三春町	21人	栃木県宇都宮市	1人
二本松市	12人	栃木県佐野市	1人
南相馬市	21人	合計	285人

身近な情報をお寄せください。

◎地域政策課 美しい村づくり班 ☎(48) 5533



三島小前から順番に自転車を乗り出す児童たち

ルールを守ってみんなの模範に 三島小で交通教室

三島小の交通教室は4月14日に行われ、児童たちが交通ルールを学びました。三島駐在所の松本哲^{あきら}巡査長、角田一郎^{かずのぶ}交通教育専門員が指導しました。また、児童を代表して馬場一暢^{かずのぶ}くん(大登)に、交通安全推進員の委嘱状が手渡されました。その後、児童たちは実際に町内に出て、1年生は道路の歩き方、2～6年生は自転車の正しい乗り方を訓練しました。



三島小に入学した12人の新一年生

「あたたかい言葉」でみんな仲良くね 三島小に12人が入学

三島小入学式は4月6日に行われ、12人が入学しました。佐藤新治校長は「あたたかい言葉、あとしまつ、あんぜんの3つを約束してください」と式辞を述べました。北館長一教育長は「早寝早起き朝ごはんを守ってください」と告辞を述べました。齋藤茂樹町長、角田伊一議長、五十嵐修一PTA会長が祝辞を述べ、新入生保護者を代表して板橋淳也さん(宮下)があいさつしました。



観光交流館「からんころん」前の道路を横断する子どもたち

おまわりさんとの約束守ってね 三島保育所で安全教室

三島保育所の親子の安全教室は4月21日に行われ、子どもたちが事件や事故にあわないようにルールを学びました。事件に巻き込まれないためには、知らない人についていけないこと、怖いと思ったら大きな声を出すことなどを、おまわりさんと約束しました。その後、実際に町内に出て、正しい道路の歩き方を訓練しました。



新たな気持ちで中学生生活をスタートした11人

震災を忘れず、将来の夢に向かって 三島中に11人が入学

三島中入学式は4月6日に行われ、11人が入学しました。佐久間雄彦校長は「みんなで協力し合い中学生生活の目標と夢の実現のため、しっかり学校生活を送ってください」と式辞を述べました。新入生を代表して細堀華さん(中平)が、「震災で入学式を迎えられない方々がいることを忘れずに、将来の夢に向かって勉強と部活をがんばりたいです」と誓いの言葉を述べました。



栗城俊一会長から米寿の祝意状を受ける板橋アキノさん

今年も元気に健康づくり 宮下長寿会総会

宮下長寿会総会は4月15日、宮下活性化センターで行われました。平成22年度事業報告および会計決算、平成23年度事業計画(案)および会計予算(案)が承認されました。また、米寿を迎えた板橋アキノさん(滝原)に祝意状が手渡されました。今年度の事業計画では、グラウンドゴルフ、フロアカーリング、公式輪投げなどの健康づくり事業や、旅行などが予定されています。



お父さん、お母さんと一緒に入所した子どもたち

4月から元気に「行ってきまーす」 三島保育所で入所式

三島保育所入所式は4月4日に行われ、ほし組さん5人、ばら組さん10人、はと組さん11人、もも組さん1人、計27人が元気に入所しました。矢澤源成所長は「おはよう、行ってきます、ただいま、おやすみなさいのあいさつをすることを約束してください」と述べました。入所児のみんなは「はーい」と元気に返事をしました。



涅槃会の行事で行われた団子まき

釈迦の遺徳をしのぶ行事「涅槃会」 宮下地区の宮昌寺で行われる

年中行事「涅槃会」は3月13日、宮下地区の宮昌寺で行われました。これは釈迦入滅の日とされる旧暦2月15日ごろに寺院で行われる法会で、涅槃図を掲げて読経し、釈迦の遺徳をしのぶものです。名入地区、川井地区でも行われます。宮下地区では、行事の中で和讃も行います。最後に色とりどりの団子がまかれ、参加者が拾いました。



三島神社で行われた消防団宮下班的無火災祈願

宮下大火の日に、無火災を祈願 消防団宮下班

消防団宮下班は、宮下大火が発生した4月11日に合わせ、三島神社で無火災祈願のお払いを行いました。宮下大火は昭和17年4月11日に発生し、集落全体に燃え広がり、ほとんどの家屋が全焼しました。その後の復興で宮下の街並みが築かれ、現在もその面影が残っています。町民全員で、火災を起こさないよう火の元に注意しましょう。

平成23年度 予算

東日本大震災で、家も、仕事も、家族も、何もかもなくしてしまった被災者のことを思えば、被災者の悲しみを思えば、
「厳しい財政状況だ」なんてことは、とても言えません。
ありがたいお金を、大事に使います。



Pickup1 防災
老朽化の著しい消火栓を計画的に更新します。今年度は検原地区2基、大石田地区2基、川井地区1基（新設）、計5基を予定しています。また、消防ポンプ自動車を購入して消防力を強化し、町民の安全を守る基盤づくりを進めます。
● 総務課
☎ (48) 5511



Pickup2 情報
町内全域に敷設した光ファイバーケーブルを活用し、防災、健康、高齢者福祉、テレビ、教育など、多面的な町民サービスの充実を目指します。今年度は防災端末の全戸導入、テレビ自主放送番組の制作などを行います。
● 総務課
☎ (48) 5515



Pickup3 地区
各地区の特色を活かした地域づくりを支援し、美しい村づくりを進めます。地区支援事業補助金や集落支援員設置事業、地区支援担当職員制度などを活用しながら、各地区での取り組みを応援していきます。
● 地域政策課
☎ (48) 5533



Pickup4 健康
特定健診受診者の全戸訪問による保健指導を行い、必要に応じて食生活の改善や運動を支援します。また、早期の治療や検査により、病気の重症化を予防するなど、町民の健康づくりを応援していきます。
● 町民課
☎ (48) 5565



Pickup5 教育
数学のチームティーチング指導や、外国語指導助手の町単独招致などにより学力向上を目指します。また、学校支援員を配置してボランティア活動を促進し、地域、家庭、学校の連携による教育を進めます。
● 教育委員会
☎ (48) 5599



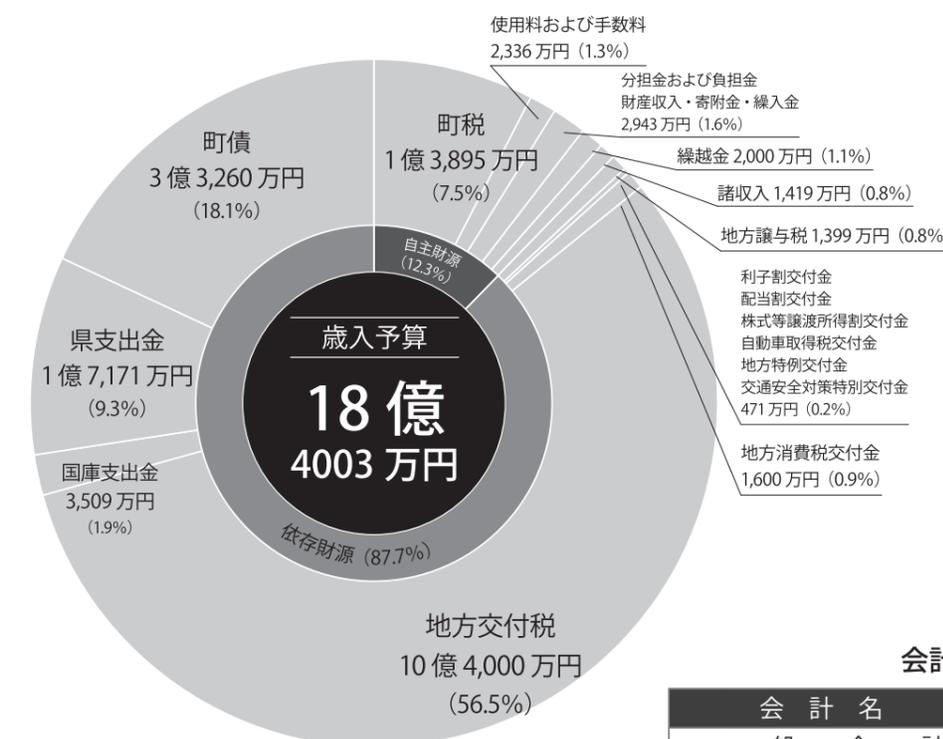
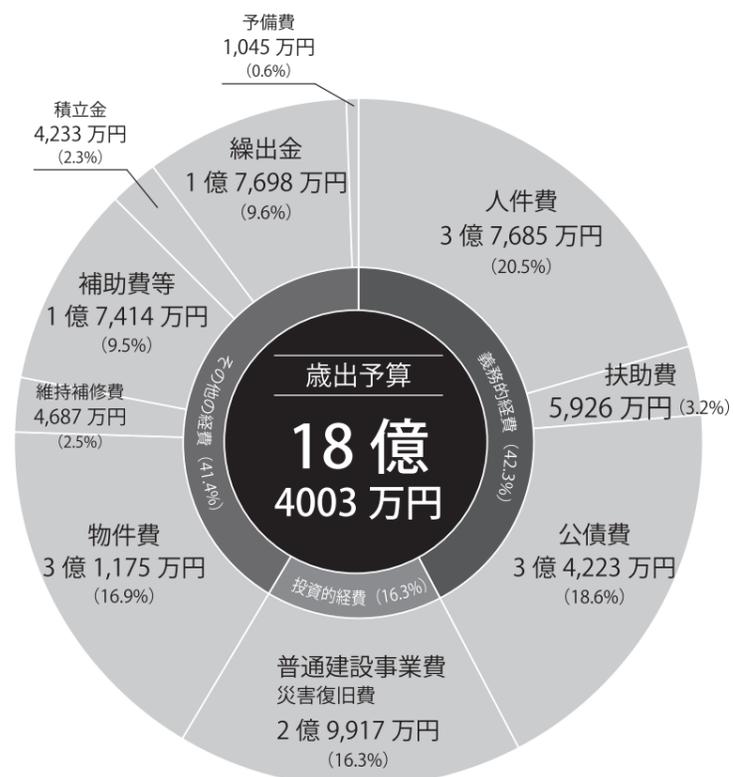
Pickup6 農林
農業振興計画を見直し、そば栽培による耕作放棄地の利用などに取り組みます。また、元気な森林づくりと雇用創出のために、間伐、森林境界明確化、路網整備を進めます。さらに、会津桐の振興と炭化事業による商品化を推進します。
● 産業建設課
☎ (48) 5566



Pickup7 観光
「三島の生活文化と歴史が見える観光」を基本理念とし、地域の魅力を観光事業に活かします。「観光交流館からんころん」を拠点として、観光協会による観光案内、商品開発などを進め、地域経済の活性化を目指します。
● 地域政策課
☎ (48) 5533

主な投資的事業

情報通信基盤整備事業	1億 6,974 万円
汎用コンバイン購入	704 万円
食鳥処理施設床改修工事	173 万円
食鳥処理施設冷凍庫新設工事	599 万円
木材加工施設機械器具購入	395 万円
三島町ブランド「会津百年スギ」づくり	2,325 万円
新産業開拓事業（桐炭等産品開発）	1,386 万円
只見川ビューポイント歩道整備	1,389 万円
青方住宅用地造成工事	525 万円
消火栓設置工事	714 万円
消防ポンプ自動車購入	2,011 万円
ひだまり浴室・換気扇等改修工事	246 万円
公用車購入（ワゴン車）	258 万円
宮下地区火の見やぐら移設工事	250 万円



会計別予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	18億 4,003 万円	△4.5%
特別会計		
国民健康保険	2億 5,675 万円	△9.2%
簡易水道	9,080 万円	△22.0%
路線バス	2,072 万円	+1.8%
老人保健	0 円	△100.0%
農業集落排水	2,901 万円	△6.5%
介護保険	3億 1,568 万円	+8.7%
戸別合併処理浄化槽	3,263 万円	+3.4%
後期高齢者医療	2,887 万円	△11.9%
合計	26億 1,449 万円	△4.3%

用語の説明

- **一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- **町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- **地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- **町債**
町の借金で、償還が2年以上にわたるものです。公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- **国庫支出金**
町が行う特定の事業に対して国から交付されるお金です。
- **県支出金**
町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金です。
- **人件費**
報酬や給与などです。
- **物件費**
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- **維持補修費**
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- **扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などの支援のための経費です。
- **補助費等**
町から他の団体などに対して特定の目的で支払う補助金などです。
- **普通建設事業費**
道路や公共施設などの整備のための経費です。
- **公債費**
町の借金を償還する（返す）ための経費です。
- **積立金**
財政運営のために積み立てるお金です。
- **繰入金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。

皆さんの一票が、
美しい町をつくります。

投票日
5/15日
告示日 5月10日

三島町長選挙
三島町議会議員補欠選挙

投票日に投票できない方は、

期日前投票をご利用ください。

齋藤茂樹町長は、健康上の理由から任期満了(10月14日)を待たず、5月16日付退任届を三島町議会議長に提出しました。これを受け、三島町選挙管理委員会では、三島町長選挙ならびに三島町議会議員補欠選挙の投票日を、5月15日に決定しました。

- 期間 5月11日(水)～5月14日(土)
- 時間 午前8時30分～午後8時
- 場所 町民センター

期日前投票は、こんなときにできます。

- ① 仕事、学業などの場合
- ② 結婚式などの場合
- ③ 旅行や買い物などに出掛ける場合
- ④ 病気、けが、出産などの場合

● 三島町選挙管理委員会(役場総務課内)
☎0241(48)5511

地区支援担当職員
地区それぞれの取り組みをお手伝いします。

町では、地区支援担当職員を配置しています。これは、「町づくりの原点は地区づくりから」の理念で、各地区の皆さんと役職員が一体となり、活力ある地区づくりを進めることを目的としています。地区座談会などを開き、町政に皆さんの意見を反映することができるよう努めていきます。また、地区支援事業補助金などを活用しながら、地区それぞれの取り組みを支援していきます。

なお、日常の相談などについては、担当職員に限らず、身近にいる職員にお話いただいても結構です。

平成23年度 地区支援担当職員名簿

地区	担当職員			
宮下	目黒政寿	真田多恵子	諏訪義徳	
荒屋敷・中平	秦一夫	舟木孝治		
桑原	星保弘	栗城拓郎		
大登	角田陽市	五十嵐義幸		
川井	森田勝	二瓶聡子	武地葉子	
桧原	鈴木庄蔵	阿部ふく	黒澤寿樹	
滝谷	目黒直	本名光子	大竹重一郎	
大谷	渡辺春吉	横倉三代子	五十嵐義展	
浅岐	諏訪典子	二瓶仁志		
間方	菅家藤一	菅家直人		
西方	小堀庄太郎	北館亮	五十嵐優	
大石田	渡部繁信	大竹真理子	青木武彦	
名入	小柴謙	二瓶大樹	大場まゆみ	
高清水・小山	小松昭	宗形和哉		
滝原	板橋淳也	佐久間絹江		
早戸	秦和幸	佐久間淳		

平成23年度 三島町消防団組織

団長	長谷川 誠
副団長	小松 正信
第一分団長	二瓶 義徳
第一副分団長	五十嵐 健二
第二分団長	小島 純
第二副分団長	(欠員)
庶務部長	(欠員)
車両部長	小島 純
訓練部長	五十嵐 健二
副訓練部長	(欠員)

第一分団		第二分団	
第一班(宮下班長)	齋藤大輔	第一班(西方班長)	小柴正洋
第二班(桑原班長)	河越昭利	第二班(大石田班長)	秦 勇
第三班(高清水班長)	五十嵐文義	第三班(名入班長)	小柴信人
第五班(滝原早戸班長)	板橋勇季	第四班(川井班長)	長谷川吉広
第六班(大谷班長)	五十嵐馨	第五班(大登班長)	五十嵐義幸
第七班(浅岐班長)	諏訪広幸	第六班(桧原班長)	海老名勇士
第八班(間方班長)	菅家直人	第七班(滝谷班長)	星保弘

平成23年度 区長名簿

地区	区長氏名	世帯数
宮下	諏訪義幸	166
荒屋敷	菅家政義	20
桑原	二瓶幹朗	19
中平	岩田久子	29
大登	角田進	41
川井	角田一晴	45
桧原	佐々木邦雄	51
滝谷	目黒常廣	51
大谷	福田耕士	51
浅岐	諏訪幸彦	23
間方	二瓶勇毅	39
西方	小松順太郎	114
大石田	秦育雄	59
名入	二瓶厚	38
小山	坂内八郎	7
高清水	矢澤源成	20
滝原	板橋泰二郎	14
早戸	佐久間源一郎	15

4月1日付採用
三島町役場の新人を紹介します

地域政策課 地域政策係
美しい村づくり班 主事

青木武彦

あおき・たけひこ 28歳 西方



13年ぶりに、三島町に帰ってました。生まれ育った故郷で働けることを幸せに感じています。同時に重い責任を感じています。三島の発展のために、誠意を尽くしてがんばります。主に広報を担当します。三島の素敵ところを、広く発信できるように努めていきます。取材などで見かけた際は、気軽にお声掛けください。

▽趣味ⅡスノーボードⅡ学歴Ⅱ高崎経済大卒Ⅱ好きな言葉Ⅱ志あれば必ず成る

地域政策課 地域政策係
六次化推進班 主事

武地葉子

たけち・よつこ 25歳 三春町出身



はじめまして。母親から三島町を愛する遺伝子を受け継いだよつこ、三島町にはわたしの心をくすぐる要素がたくさんありました。自然、人、地域の人々が築き上げた文化…。大学を卒業してから山形県内の山村に住み込み、2年間機械織りをしていました。地域の方々のご苦労や幸せを想いながら、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いたします。

▽趣味Ⅱ山登り、ものづくりⅡ学歴Ⅱ山形大卒ⅡこれからしたいことⅡ三島巡り、日本巡り、世界巡り

三島の民話

第二話

おすずの壇



おすず姫の墓 (西方)

三島町には数え切れないほど多くの民話があります。本に残された話、語り継がれてきた話、忘れられようとしている話……。ここでは三島町に残る昔話や伝説、世間話などを紹介します。

むかしのこと、高倉の宮に仁王を奉じ源三位頼政は宇治の川原で兵を挙げて平家にかみついた。ひとたまりもなく負けて宮とお供のひと、尾瀬中納言頼實、小椋少将定信はじめ野党のぬえ退治の猪の早太、渡辺の唱をはじめとし高倉の宮の御妃紅梅の御前、付添の桜木姫十六歳になった頼政の娘鈴姫一行二十三人。信濃路から碓氷峠、上州沼田から会津へ。それは長い旅であった。大内の庄で紅梅御前も桜木姫もともに果てた。何回も何回も追って軍勢とたたかった。鈴姫も心身共につかれはて西方の庄に入って銭森長者藤原保祐の館に寄寓することとなった。長者はことのほか姫を吾が娘の如く愛した。月の夜は高倉の宮遺

愛の横笛「小枝」を吹き、朝は清らかな泉に姿をうつしては昔を思い唯、ひなの山里にかくれ住む我が身をいといつつ、二たとせの後十八歳で姫は生涯を終えた。長者一族のやさしいみとりの中で静かに東の丘に今も塚があり、お鈴の壇と言う。鈴姫の歩いた道をお化粧坂。姿をうつした化粧清水。今もコンコンと湧く。治乱興亡の歴史いくたびか繰り返されて、唯名のみ残るお鈴の壇には夏でも肌寒い秋風が吹きすぎる。
秋立ちそめた頃、鈴姫塚のあたり碧落の彼方。さわやかな横笛の音が流れて来るといふ。鈴姫の吹き鳴らす横笛だと言ふ。

遠藤太禪・著「奥会津山里民話」より

ふるさと三島町を一緒に応援しませんか？

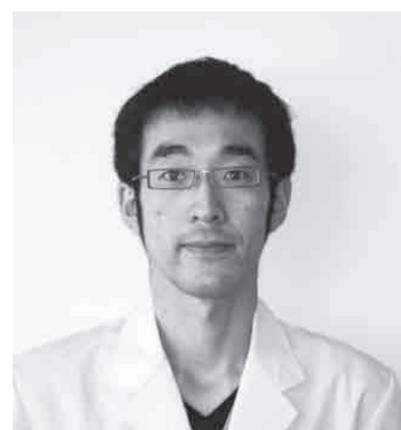
若松三島会 会員募集中

若松三島会は、会員相互の親睦と融和および協力と、ふるさと三島町の発展に寄与することを目的として、平成2年10月に設立されました。現在、約70人の会員で構成されております。今後さらに、会津若松市近郊に在住の三島町出身者にご参加いただき、会を盛り上げていきたいと考えております。入会を希望される方、興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

- 主な活動 総会ならびに懇親会（毎年2月）
季節ごとのイベント
- 会員特典 「広報みしま」が毎月届きます。
- 年会費 2,000円
- 若松三島会 会長 栗城嘉昭 ☎0242 (22) 8012
事務局 舟木政一 ☎0242 (24) 8128
三島町役場 地域政策課 ☎0241 (48) 5533

宮下病院からのお知らせ 新しい先生が着任しました

新任医師紹介



とうじゅう かずや 當重 一也 先生

- 専門分野 内科・外科
- 前任地 県立南会津病院

この度、着任した當重(とうじゅう)といいます。出身は宮下病院から只見を抜けた先にある新潟県の長岡ですが、縁あって一昨年より福島県内で勤務しています。非常に珍しい名字とよく言われますが、どうぞよろしくお願ひします。

私の専門は麻酔科ですが、当院では内科・外科幅広く診療して皆さんのお役に立ちたいと思っています。ところで、麻酔科の中には「ペインクリニック」という痛みの治療を専門にする分野があり、内服薬や神経ブロック、東洋医学的アプローチ(漢方・鍼など)で患者さんの痛みを和らげる治療を行っています。頭痛や、腰・肩・膝痛など部位は問いません。これらでお悩みの方がいらっしゃいましたらどうぞご相談ください。

会津に住んで3年目になりますが、ようやく地域同士の位置関係がつかめてきました。最近カメラを始めましたので、今年は奥会津の四季を記録に残したいと思っています。よい撮影スポットがあったらぜひ教えてください。

歳時記 萌の会

飛び出して雪の大地に任せたり 六進子	春泥や忍び込むごと足さばき 幸子	薄氷や割って漬菜を舌で讀め 有美子	のど飴を舌にころがし日向ぼこ 三保	ダム幾つ呑み込む響き雪解川 盛雄
残雪や辛抱辛抱竹の杜 朋良子	大安を待ちて曾孫の春着裁つ たつの	冴え返る被災し人の身を案じ 佳子	鶯に会いたくてまた遠回り まさ子	淑氣満つ命を灯す術後室 祐一

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

- 利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
- お休み 年末年始
- 教育委員会 ☎(48) 5599



一般向け
KAGEROU
齋藤智裕・著
ポプラ社

廃墟と化した古いデパートの屋上、周囲にはりめぐらされた転落防止フェンスの向う闇空に、ヤスリで削ったような三日月、自殺願望の強いヤスオの前に現れた全身黒づくめの男。二人の奇妙な関係、読んでいくうちにいつの間にかその世界が頭の中に浮かんでくる。

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会で検討し、選定された本を購入します。

かみさまからのおくりもの

ひぐちみちこ・著
こくま社
実体験をもとに生まれたこの一冊。お母さんのやさしさが伝わる一冊。みんなは神さまから、どんな贈り物をもらいましたか？



小・中学生向け



さびしさの授業
伏見憲明・著
理論社
人は他人の心の中は分からない。誰かの心の奥にある「生きられる場所」を求め声に耳を傾けようと思う。互いを大切にしようと思えるようになる一冊です。

魔術

芥川龍之介・作 宮本順子・絵
偕成社
誰でも持っている、ひとかけらの人間の欲深さを見事に描いた一冊です。皆さんはいかがですか？



これからの行事予定 town schedule

- 5月10日(火) 町長選挙および町議会議員補欠選挙告示日
- 5月12日(木) 心配ごと相談 9:30～ 福寿草
- 5月15日(日) 町長選挙および町議会議員補欠選挙投票日 7:00～ 各投票所
- 5月21日(土) 三島小運動会 9:00～ 三島小
- 6月5日(日) 志津倉山開き 安全祈願 8:20～ 志津倉山登山口
- 6月11日(土)・12日(日) 第25回ふるさと会津工人まつり 9:00～ 生活工芸館前
てわっさの里まつり 9:00～ 宮下町内
第4回山と木の市場 9:00～ 工人まつり会場から徒歩5分

ご寄附 ありがとうございました

町へのご寄附

※東日本大震災の義援金としていただきました。

- 佐久間建設工業(株) 代表取締役 佐久間源一郎様
- 佐久間建設工業(株) 従業員一同様
- 水嶋 由里江 様 (東京都豊島区)
- 宮下部落親和会 様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

- 五十嵐 善 幸 様 (早戸)
- 長谷川 秋 吉 様 (川井)
- 角 田 清 義 様 (浅岐)

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

町民課 ☎ (48) 5565

4カ月健診

- 5月10日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
- 6月14日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

- 5月17日(火) 13:10～ 町民センター

子宮がん検診

- 5月26日(木) 13:30～ 町民センター
- 6月6日(日) 13:30～ 町民センター

足腰げんき教室 (室内運動編)

- 5月10日(火) 13:30～ 町民センター
- 6月16日(木) 13:30～ 町民センター

足腰げんき教室 (水中運動編)

- 5月19日(木) 13:00 町民センター集合
河東学園プール

機能訓練会

- 5月11日(水) 14:00～ 福寿草
- 6月8日(水) 14:00～ 福寿草

心の健康相談 (※事前申し込み必要)

- 5月27日(金) 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では5月中、刑法犯は発生しませんでした。

震災に伴う防犯警戒の強化

県内では、強盗や避難中の留守宅をねらった空き巣、出店荒らし、車上狙い、ガソリンや灯油の抜き取り、ATM機荒らしなどが発生しています。今後も上記犯罪のほか、被災地への義援金を装う振り込め詐欺、訪問による募金詐欺、被害家屋の修繕等の勧誘に係る悪質商法、被災地をねらったヤミ金事犯、廃棄物の不法投棄などの発生が予想されます。

被害に遭わないために

- ①外出時などは、必ず鍵をかける。
- ②車から離れる時も必ず鍵をかけ、車中に貴重品や物を置かない。
- ③不審電話や甘い勧誘の電話は、振り込め詐欺や悪質商法の可能性があります。相手にせざるばかりと断って110番通報、または最寄りの警察署や駐在所に速報してください。

街頭犯罪発生状況 (5月末現在)

区分	管内	三島町
空き巣狙い	1	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機狙い		
車上狙い	4	
部品狙い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	7	0
全刑法犯	14	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

あらゆる法律トラブルの 支援ダイヤル

法テラス福島

法テラスは、法的なトラブルを抱えた人に解決へのきっかけとなる情報やサービスを提供(無料)します。

そのほか、無料法律相談、犯罪被害者支援や裁判費用などの立て替えをする民事法律扶助業務(資力基準あり)なども実施しています。※法テラスは、国が設立した公的な法人です。安心してご利用ください

コールセンター

☎ 0570 (078) 374

受付時間

平日 午前9時～午後9時
土曜日 午前9時～午後5時

日本司法支援センター福島地方事務所 (法テラス福島)

☎ 050 (3383) 5540

被災した企業に対する 国の未払賃金立替払制度

福島労働局

お勤めになっていた企業が、地震または原子力発電所の事故影響によって被害を受けたことにより、倒産状態にいたった場合には、国が企業に代わって未払い賃金の一部を立替払いする制度を利用することができます。

なお、制度の詳しい内容や手続きについては、最寄りの労働局または労働基準監督署にお問い合わせください。

福島労働局 監督課

☎ 024 (536) 4602
会津労働基準監督署
☎ 0242 (26) 6494

三島町の人口と世帯 (4月1日現在)

人口	2,003	-11	出生	2
男	953	-5	死亡	3
女	1,050	-6	転入	4
世帯	836	-3	転出	14

※住民基本台帳による数値です。

求人 会津西部斎苑 正職員募集

㈱会津坂下公共サービス

会津西部斎苑の指定管理者である株式会社会津坂下公共サービスでは、会津西部斎苑に勤務する正職員を募集しています。

職種

火葬業務・施設管理業務

受験資格

高校卒業以上で昭和60年以降に生まれた方

募集人員

1名

採用

平成23年7月1日付採用

試験内容

筆記試験(作文)・面接試験

応募方法

市販の履歴書に必要事項を記入の上、㈱会津ばんげ公共サービス(糸桜里の湯ばんげ内)に提供してください。郵送でも受け付けます。

応募締切 平成23年5月22日(日) (当日消印有効)

試験日・試験会場

応募者に通知します。

株式会社会津ばんげ公共サービス

会津西部斎苑 職員募集係

〒969-6506 河沼郡会津坂下町大字見明字堤帰 2115 番地

☎ 0242 (83) 1344

ソフトウェア、ハードウェアの 研究開発室使用者募集

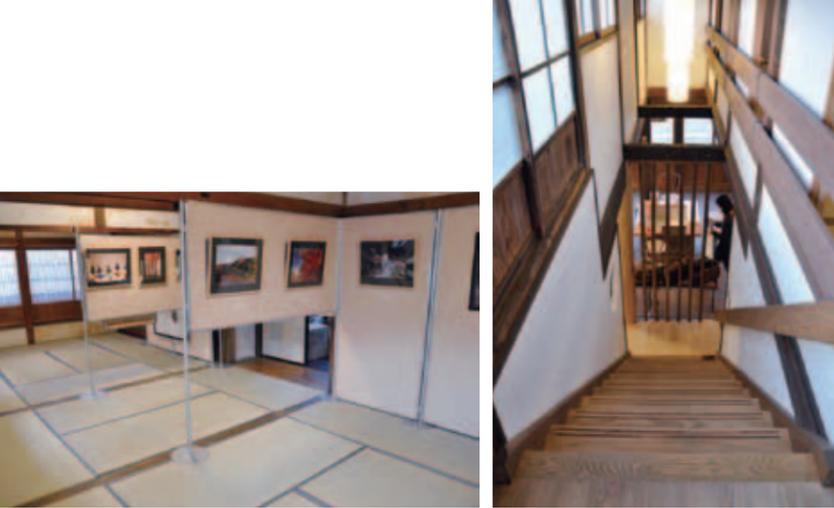
会津大学産学イノベーションセンター

会津大学産学イノベーションセンターでは、コンピューターソフトウェア、ハードウェアに関する研究開発を支援する施設として、研究開発室の使用者を公募しています。詳しくは同センターまでお問い合わせください。

会津大学産学イノベーションセンター

☎ 0242 (37) 2776

URL : <http://www.ubic-u-aizu.jp/>



桐下駄の音のように 軽やかで楽しい街に

観光交流館 からんころん

館内は木のぬくもりあふれる落ち着いた雰囲気です。町観光協会スタッフの三浦直樹さん、栗城浩美さんが観光案内やイベントの企画などを行います。

観光交流館「からんころん」は、町の新しい観光案内所として4月から業務を始めました。東北関東大震災の影響で、観光客の減少が大きな問題となっていますが、できることから取り組んでいます。

館内は、杉や桐などの地場産材がふんだんに使われた空間です。1階には、休憩所と厨房、街中トイレがあります。また、指定管理者の町観光協会が事務所を置いています。2階は和室となっており、さまざまな用途で利用できます。スタッフの三浦直樹さんは「子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで、『からんころん』をみんなにとつての憩いの場にしたいです」と話しています。

この施設を利用して、宮下そ

ばの会が定期的なそばの提供を予定しています。その他、町観光協会では、料理の提供やイベント、展示など、利用希望に応じていきたいと考えています。スタッフの栗城浩美さんは「町民の皆さんや観光客の方々が元気になる、安心できる町になるようお手伝いしたいです。からんころんは休憩所や待ち合わせ場所などに、お気軽にご利用ください。お待ちしております」と話しています。

町観光協会は、観光事業のさらなる充実を目指して取り組んでいきます。4月から新しくなった体制で、三島の良さをアピールしていきます。『からんころん』と桐下駄が鳴り響く街を目指して。

観光交流館 からんころん

(三島町観光協会事務局)

☎ 0241 (48) 5000

(ファックスも同じ番号です)

〒 969-7511 大沼郡三島町大字宮下字宮下 214-5

ホームページ

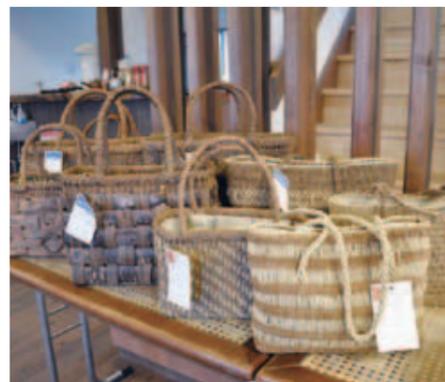
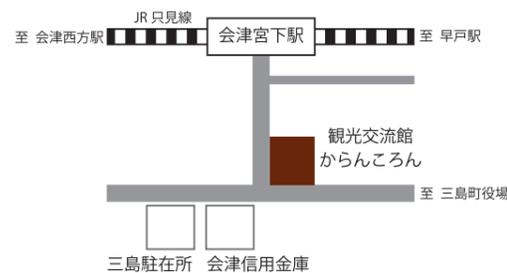
<http://www.mishima-kankou.net/index.html>

ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/mishimakankou>

電子メール

mishima@oboe.ocn.ne.jp





6/5^①

志津倉山開き

ブナの原生林、巨大な雪食地形、志津倉山には豪雪が作り出した迫力ある風景が広がります。標高 1,234 ㍎、登山口から頂上まで約 2 時間。大自然を満喫できる登山です。

●予定時間

- 7:40 送迎バス発 (会津宮下駅前)
- 8:20 登山安全祈願
- 8:30 登山開始
- 11:30 山頂にて抽選会
- 14:30 登山口 送迎バス出発
- 15:00 送迎バス着 (会津宮下駅前)

問三島町観光協会 ☎ 0241 (48) 5000



6/11^②12^③

第 25 回 ふるさと会津 工人まつり

●場所 三島町生活工芸館前

11 日^④ 9:00~16:00 12 日^⑤ 9:00~15:00

◎全国各地の手作り工芸品を展示・即売

◎大抽選会 (両日とも正午から)

◎地元料理の模擬店

問三島町生活工芸館 ☎ 0241 (48) 5502

同時開催

てわっさの里まつり

宮下町内

山と木の市場

(工人まつり会場から徒歩 5 分)



「がんばろう。三島」